さいたま市 内水（ないすい）ハザードマップ

北区 Kita Ward 北区 기타구

Saitama City Inland Water Hazard Map　埼玉市內涝灾害預警地图　사이타마시 내수해저드 지도

内水ハザードマップとは　What is Inland Water Hazard Map?　何谓内涝灾害预警地图　내수해저드 지도란

この内水ハザードマップは、下水道の排水能力を超える大雨によって内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深等を、浸水シミュレーションにより示したものです。
日頃の備えや避難の際に役立てていただくなど、市民の皆様の自助・共助の促進を目的として作成しました。
このマップの地図面では、想定される浸水深0.1m以上の区域から10.0m未満の区域までを6段階で色分けし、表示しています。
お住まいの地域の浸水深を確認し、安全に移動できる避難ルートを確認してください。
雨の降り方や土地の形状の変化などにより、浸水区域や浸水深が地図と異なる場合もあるため、複数の避難ルートを考えておきましょう。
市から、警戒レベル4の避難情報が発令された場合、速やかに浸水想定区域外へ避難してください。なお、警戒レベル3の避難情報が発令された場合は、避難を完了させるのに時間を要する高齢者や体の不自由な方などは避難を開始してください。

This Inland Water Hazard Map shows the inundation area and depth of inundation that can be anticipated in the occurrence of inland water flooding caused by heavy rainfall that exceeds the drainage capacity of the sewerage system, based on inundation simulation.
It was prepared with the aim of promoting self-help and mutual-help among citizens by helping them prepare for everyday needs and evacuation.
On the map side, areas with simulated depths of inundation from 0.1m to below 10.0m are shown in six different colors, each representing a level of inundation.
Please check the depth of inundation in your area and make sure you have a safe evacuation route to move to.
Consider multiple evacuation routes, as the flooded area and depth of flooding may differ from the map due to rainfall and changes in the shape of the land.
When a city issues an evacuation information of alert level 4 or higher, evacuate immediately outside the inundation simulated zone. When an evacuation information of alert level 3 is issued, start evacuating if you are elderly or disabled and need time to complete the evacuation.

本內涝灾害预警地图基于超出下水道排水能力的大雨导致內涝泛滥时、对预测的淹水区域及淹水深度等进行淹水模拟试验而制作。
制作本地图是以备在日常防灾准备及避难时发挥作用等，为的是加强广大市民的自助、互助意识。
在本地图的地图页面中，将预计淹水深度在0.1米以上、10.0米以下的区域分为6个等级进行颜色区分。
请确认居住地区的淹水深度、以及可移动至安全场所的避难路线。
淹水区域及淹水深度可能会因降雨方式或土地形状的变化而与地图标示产生差异，请请确保多条避难路线。
当市政府发布警戒等级4的避难信息时，请迅速避难至淹水预计区域以外的安全地点。另外，当发布警戒等级3的避难信息时，请完成避难需要较长时间的老年人、残障等人员开始采取避难行动。

이 내수 해저드 지도는 하수도의 배수 능력을 초과하는 집중 호우에 의해 내수 범람이 발생했을 경우에 상정되는 침수 구역과 침수 깊이 등을 침수 시뮬레이션을 통해 보여준 것입니다.
평소의 준비와 재해 발생 시에 원고로 하시는 등 시민 여러분의 자조와 공조의 촉진을 목적으로 작성되었습니다.
이 지도의 지도면에서는 예상 침수 깊이 0.1m 이상인 지역부터 10.0m 미만인 지역까지 6단계로 색으로 구분하여 표시하고 있습니다.
거주하시는 지역의 침수 깊이와, 안전하게 이동할 수있는 대피 경로를 확인하여 주십시오.
비가 내리는 경향이나 토지의 형태 변화 등으로 인해, 침수 구역과 침수 깊이가 지도와 다를 수 있기 때문에 여러 피난 루트를 강둑해 두시기 바랍니다.
시에서 경계 레벨 4의 피난 정보가 발령된 경우, 신속히 침수 예상 구역 밖으로 피난하십시오. 또한 경계 레벨 3의 피난 정보가 발령된 경우, 피난을 완료하는 데 시간이 걸리는 고령자나 장애인 등은 피난을 시작하십시오.

内水ハザードマップを作成した条件

この内水ハザードマップは、想定し得る最大規模の雨（時間最大153mm、総雨量249mm）がさいたま市全域に降り、放流先河川の水位が高い場合を想定して浸水シミュレーションを行い、作成しました。

内水ハザードマップを使用する時の注意事項

想定される浸水区域や浸水深は、雨の降り方や土地の形状及び河川・下水道等の整備状況などにより変化します。そのため、大雨の際に必ずこの地図に示すとおりに浸水するということではなく、浸水が想定されていない地域でも、状況によっては浸水することもあるため、十分に注意してください。
※このマップは一級河川の外水氾濫（洪水）は考慮していないため、最新の洪水ハザードマップも併せてご確認ください。また、市民の皆様から通報のあった浸水情報は考慮していないため、過去の浸水情報については、各区情報公開コーナーに設置している「さいたま市の水害に関する情報について」のほか、ホームページで公開している「さいたま市浸水履歴マップ」をご確認ください。

このマップで得られる情報

1. 浸水発生のメカニズム
2. 生命・財産を守る情報
3. 気象の情報
4. 関係機関の連絡先
5. 避難時の注意点
6. 日頃からのこころがけ
7. さいたま市からの情報の提供

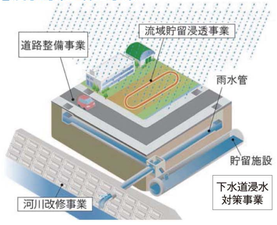
令和８年３月

1 浸水発生のメカニズム

本市の整備方針

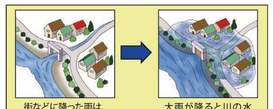
本市は内陸部に位置しているため、雨水は国や県が管理する一級河川に流入していますが、放流先の河川の整備状況により、放流量に制限が設けられています。
本市の下水道による浸水対策は、1時間当たり約56mmの降雨に対応できるよう、放流先河川の整備状況に合わせて、雨水管や貯留施設などの整備を進めてきました。
また、本市が管理する河川については、1時間当たり約30～50mmの降雨による洪水を安全に流下させるための治水対策を推進してきました。
しかし、近年、気候変動の影響により整備水準を上回る大雨が多発していることや、都市化の進展による雨水流出量の増加などにより、雨水が集まり易い低地部などで浸水被害が発生しています。
そこで本市では、流域全体であらゆる関係者が協働して水災害対策に取り組む「流域治水」を推進し、ハード対策（治水施設の整備など）とソフト対策（避難計画や情報提供など）の両面から、多層的に浸水対策を進めていきます。

浸水対策に係る事業

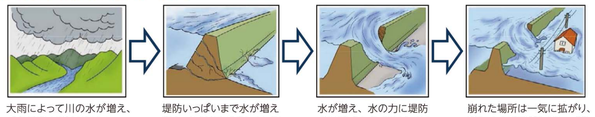


内水氾濫のメカニズム（出典：国土交通省HP）

下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきれないで地上に溢まったままになったりします。


街などに降った雨は、下水道などを通って川に排水されます。
大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。

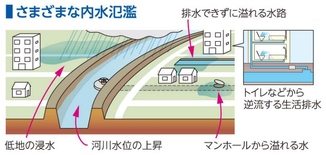
外水氾濫（洪水）のメカニズム（出典：国土交通省HP）


大雨によって川の水が増え、水かさが上がり始めます。
堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。
水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。
崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

内水氾濫の発生しやすい箇所

下水道幹線や水路沿いは、河川水位が上昇すると、下水道や水路から河川に排水できなくなるため、内水氾濫が発生しやすい箇所となります。
また、低地は周りから水が集まりやすいため、内水氾濫が発生しやすい箇所となります。

さまざまな内水氾濫



ご家庭での対策について

台風や大雨時には、トイレなどの生活排水が流れづらくなり、排水できずに逆流することがあります。事前に浸水・逆流対策として「水のう」を準備し、大雨時には水を大量に使うお風呂や洗濯機などの使用を控えましょう。

2 生命・財産を守る情報

避難の情報

それぞれの警戒レベルに相当する情報を早めに集め、避難行動の判断として、役立ててください。
市町村からの避難情報の発令に留意するとともに、避難情報が発令されていなくとも自ら避難の判断をしてください。
警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。
激しい降雨が継続すると、外水氾濫（洪水）が発生する危険が高まります。

警戒レベルの一覧表（令和8年度出水期より運用）

警戒レベル 相当情報	大雨に関する情報	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5 相当	レベル5 大雨特別警報	命の危険 直ちに安全確保!	緊急 安全確保
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！			
4 相当	レベル4 大雨危険警報	危険な場所から全員避難	避難指示
3 相当	レベル3 大雨警報	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	レベル2 大雨注意報	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）

河川氾濫、土砂災害に関しての情報も発表される場合もありますので、併せて確認して命を守る行動をとりましょう。

情報の収集

情報には、プッシュ型（自動通知される情報）とプル型（自ら情報を取得するもの）があります。
プッシュ型通知は、自動で配信されるものもあらかじめ登録しておくことで、自動配信されるようになるものがあります。気象、河川に関わる警報や避難情報に充分注意し、慌てず冷静に判断して行動しましょう。

プッシュ型通知：自動配信メール

- **緊急速報メール・エリアメール**
  配信対象市町村内の携帯電話（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー（au）、ソフトバンク、楽天モバイル）のユーザーは、市が配信する避難情報を自動で受信できます。
- **さいたま市防災行政無線メール**
  事前に登録することで、災害時緊急情報等の防災行政無線で放送した内容を自動で受信できるようになります。
  【URL】https://www.city.saitama.lg.jp/001/011/015/004/002/p054192.html
- **さいたま市災害時防災情報電話サービス**
  携帯電話やスマートフォンを所持しておらず、メール等の利用が困難な方を対象に、避難情報等を固定電話、またはFAXに配信するサービスです。
  【URL】https://www.city.saitama.lg.jp/001/011/015/004/002/p071187.html

気象情報を入手

注意報、警報等の情報を入手できます。
- **さいたま市の注意報・警報等気象情報**
  https://saitama-city.bosai.info/ui/dashboard
- **Yahoo! 天気アプリ**
  https://weather.yahoo.co.jp/weather/promo/app/

河川などの水位情報を入手

川や下水道の水位・カメラ等の情報を入手できます。
- **国土交通省 川の防災情報**
  https://www.river.go.jp/
- **さいたま市水位情報システム**
  https://www.flood-info.city.saitama.jp

防災情報を入手

ハザードマップ・災害への備え等の情報を入手できます。
- **さいたま市危機管理防災気象情報**
  https://www.city.saitama.lg.jp/bousai/index.html
- **さいたま市洪水ハザードマップ**
  https://www.city.saitama.lg.jp/001/011/015/002/003/p008311.html

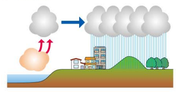
3 気象の情報

防災気象情報で避難行動に活用しましょう

防災気象情報は、2種類の情報内容からなります（令和8年度出水期より運用）。

気象防災速報

極端な現象を速報的に伝える内容です。
- 記録的短時間大雨
- 線状降水帯発生
- 線状降水帯直前予測
- 短時間大雪
- 竜巻注意／竜巻目撃



気象解説情報

現在の気象状況とその見通しを詳しく解説します。
- 線状降水帯半日前予測
- 台風第○号
- 気象解説情報（大雨※）

※何に注目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードが付されます。

雨の降り方と強さ

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

予報用語（1時間雨量）	やや強い雨（10～20mm）	強い雨（20～30mm）	激しい雨（30～50mm）	非常に激しい雨（50～80mm）	猛烈な雨（80mm以上）
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	——	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

上記のように、傘が役に立たなくなったり、視界が悪くなることがありますので、行動の目安としてください。雨の降り方や地形・土地の状況などによって地域の危険度が変わるため、周囲の状況をよく見て、冷静に判断して行動しましょう。

4 関係機関の連絡先

連絡先

関係機関の連絡先

●浸水に備えて

防災対策全般に関すること	総務局危機管理部防災課	TEL 048-829-1126
洪水ハザードマップに関すること	総務局危機管理部防災課	TEL 048-829-1126

●浸水が発生したとき

住宅の浸水や道路冠水が発生したとき	北区役所	TEL 048-653-1111
避難所の開設状況を確認したいとき	北区役所区民生活部総務課	TEL 048-669-6013
緊急性がある場合、救急車や消防隊の活動が必要なとき	消防局	TEL 119

●浸水被害を受けたあと

罹災（りさい）証明書の発行について	北区役所区民生活部総務課	TEL 048-669-6013
冠水した道路の消毒について	北区役所くらし応援室	TEL 048-669-6026

災害時に役立つ連絡方法

水害や地震などの大きな災害が発生すると、被災地への電話が集中し、つながりにくくなります。このような状況で、家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネットを利用し、伝言を「音声」で登録することができる「災害用伝言ダイヤル」、伝言を「文字」で登録することができる「災害用伝言板」を提供しています。

●「災害用伝言ダイヤル171」の活用
大規模災害発生時に家族の安否等の情報を電話で伝言として保存したり、再生することのできるNTTが行うサービスです。

〈伝言の録音方法〉
171にダイヤルする ▶ 録音の場合 1 ▶ 電話番号を入力する（●●●）-●●●-●●●●
ガイダンスが流れます　ガイダンスが流れます

〈伝言の再生方法〉
171にダイヤルする ▶ 再生の場合 2 ▶ 電話番号を入力する（●●●）-●●●-●●●●
ガイダンスが流れます　ガイダンスが流れます

わが家の防災メモ

わが家の指定緊急避難場所1		家族の集合場所	
わが家の指定緊急避難場所2		災害時の連絡先	

家族の連絡先	名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先

さいたま市内水ハザードマップに関するお問合せ先			
	総務部 危機管理部 防災課	TEL 048-829-1126	FAX 048-829-1978
	建設局 下水道部 下水道計画課	TEL 048-829-1566	FAX 048-829-1975
	建設局 土木部 河川課	TEL 048-829-1585	FAX 048-829-1988

5 避難時の注意点

局所的大雨などにより、急に浸水が起こることがあるため、早めの対応を心がけましょう。
水深20cm程度でも水の流れによっては、歩行が困難になります。高齢者や子供は大変危険です。もしも逃げ遅れたら、高所に避難して救助を待ちましょう。

正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。なお、情報収集の際は偽情報や誤情報に惑わされないよう十分に注意しましょう。

避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

動きやすい服装、２人以上での避難

避難するときは、動きやすい服装で、２人以上での行動を心がけましょう。

高齢者などの避難に協力を

高齢者や子ども、障害者など要配慮者は、早めの避難が必要です。周囲の方々は避難に協力しましょう。

自動車での避難は控えて

道路冠水などにより車が水に浸ったり、浸水深30cmを超えると、エンジンが停止し、50cmを超えると、車内に閉じ込められ車とともに流されるなど、非常に危険な状態となります。避難所へは、原則、徒歩で避難しましょう。避難所は駐車できません。

もしも、逃げ遅れたら

近くの頑丈な建物のなるべく高い階数に避難して救助を待ちましょう。また、屋外での移動がかえって命に危険を及ぼしかねない場合には、屋内の高いところや、場合によっては屋上へ移動し、垂直避難を行うことで、身の安全を確保しましょう。

地下道などの注意を要する場所

さいたま市内には道路などの立体交差部が数多くあります。とくに、浸水時などに水深が深くなると予想される地下道などは、避けて避難行動をとることが必要です。

浸水場所での避難方法

- 氾濫水は50cmくらいの深さでも、勢いが強いため歩くのが困難な場合があります。緊急避難として、高い頭丈な建物にとどまったり、高い所での救助を待ちましょう。
- はだしや長靴は禁物です。動きやすい運動靴をはきましょう。

- 氾濫水は茶色く濁っており、水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。
- 高齢者などは背負いましょう。子どもは浮き袋などを利用して、安全を確保して避難しましょう。

地下空間の危険性

●地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます。
換気口や採光窓等、思わぬところから水が入ってくることがあります。また、流れ落ちる水で階段は登れません。

●浸水すると停電するおそれがあります。
停電すると電灯が消えて真っ暗になります。なお、エレベーターは使えません。

●地下室では外の様子がわかりません。
地下室では雨の強さや天候の急激な変化がわかりませんので、気象情報等に注意が必要です。また、外の様子に変化があったときは地下室内の人に知らせましょう。

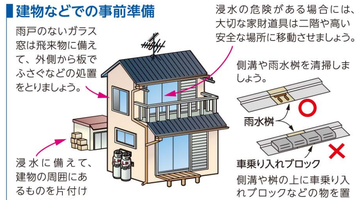
●水圧でドアは開きません。
ある程度浸水すると、外開きでも内開きでも、ドアを開けることができなくなります。

6 日頃からのこころがけ

事前の準備

建物などでの事前準備

雨戸のないガラス窓は飛来物に備えて、外側から板でふさぐなどの処置をとりましょう。
浸水に備えて、建物の周囲にあるものを片付けておきましょう。
浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は二階や高い安全な場所に移動させましょう。
側溝や雨水桝を清掃しましょう。



側溝や桝の上に車乗り入れブロックなどの物を置かないようにしましょう。

●簡単な土のう等の作り方
水深が浅い段階なら、家庭にあるゴミ袋、レジャーシート、プランターなどを活用した応急処置で対処が可能です。

〈ごみ袋を利用〉
大きめのごみ袋などを二重にし、中に半分程度の水（ふろの残り水などが使利）を入れ、すき間なく並べます。段ボールに入れて連結すると、強度が増し、積み重ねることもできます。

〈シートを利用〉
土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシートを巻き込んで補強します。プランターの代わりに水を入れたポリタンクや重くしたビールケースなども利用できます。

家庭などでの事前準備

- 生活用水を貯めておきましょう。（飲料水は、1人1日3L が目安）
- 避難所などへのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるか確認しておきましょう。

防災訓練に参加

市や自治会・自主防災組織等は、起震車体験、初期消火訓練など、さまざまな防災訓練を実施しています。防災訓練へ参加して防災意識を高め、もしものときに備えましょう。

非常持出品と備蓄品

大規模災害時、被災地に支援物資が届くまでには、おおむね３日かかると言われています。非常持出品は、必要最小限のものを厳選し、一つにまとめてすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。また、在宅避難の際に、災害から復旧するまでの数日間を支える備蓄品を分けて用意しましょう。特に、食料や飲料水などを普段から多めに常備し、利用しながら買い足すことを繰り返す「ローリングストック」をこころがけましょう。

- 高齢者や乳幼児など、家族構成に応じて特に必要なものがあればプラス加えておきましょう。
- 非常持出品は保存状態や使用期限などを定期的に点検し、必要に応じて新しいものに交換しましょう。

基本の非常持出品

〈貴重品類〉
- □ 印鑑
- □ 現金
- □ 預金通帳
- □ 免許証
- □ 個人番号カード（マイナンバーカード又は資格確認証）

〈避難用具〉
- □ 非常用ライト（懐中電灯・ヘッドライト・ネックライト）
- □ 携帯ラジオ
- □ 予備の電池
- □ モバイルバッテリー（電池式）
- □ ヘルメット
- □ 防災ずきん

〈生活用品〉
- □ 軍手
- □ ライター
- □ 缶切り
- □ ランタン
- □ ナイフ
- □ 携帯用トイレ
- □ タオル
- □ ティッシュ
- □ ウェットティッシュ
- □ 筆記用具
- □ メモ帳
- □ ビニール袋

〈救急用具、衛生用品〉
- □ 救急箱（絆創膏、消毒液、栄養補助食品）
- □ 処方箋やお薬手帳
- □ 常備薬（胃腸薬、便秘薬、持病の薬）
- □ 洗面用具
- □ 歯磨きセット
- □ マウスウォッシュ
- □ マスク
- □ 使い捨てカイロ
- □ 除菌シート等感染対策品

〈非常食品〉
- □ 飲料水
- □ 乾パン
- □ 缶詰
- □ 簡易食（あめ・チョコなど）

〈衣料品〉
- □ 下着
- □ 靴下
- □ 長袖
- □ 長ズボン
- □ 防寒ジャケット
- □ 雨具

基本の備蓄品

〈食料品〉
- □ 飲料水
- □ 米
- □ 缶詰
- □ レトルト食品
- □ スープ
- □ 調味料
- □ 麺類
- □ 菓子類

〈燃料〉
- □ 卓上コンロ
- □ 予備のガスボンベ
- □ 固形燃料

〈生活用品〉
- □ 毛布
- □ タオルケット
- □ 寝袋
- □ なべ
- □ やかん
- □ 簡易食器（わりばし・紙皿・紙コップなど）
- □ ラップ
- □ アルミホイル
- □ 簡易トイレ
- □ バケツ
- □ 工具類（ロープ・バール・スコップなど）
- □ 新聞紙
- □ 布ガムテープ

〈乳幼児・妊婦がいる家庭に役立つもの〉
- □ ミルク
- □ 使い捨て哺乳びん
- □ 離乳食
- □ アレルギー対応食
- □ 紙コップ
- □ スプーン
- □ 紙おむつ
- □ おしり拭き
- □ 携帯用おしり洗浄器
- □ おんぶひも
- □ 抱っこひも
- □ ガーゼハンカチ
- □ 洗浄瓶
- □ スライ
- □ 母乳パッド
- □ 授乳ケープ
- □ 母子健康手帳
- □ マタニティマーク
- □ おもちゃ

〈高齢者、要介護者がいる家庭に役立つもの〉
- □ 大人用紙おむつ
- □ 紙パンツ
- □ 枕
- □ 入れ歯
- □ 入れ歯用洗浄剤
- □ 介護用品
- □ 老眼鏡
- □ 補聴器
- □ 障害者手帳
- □ ヘルプマーク

〈女性のために役立つもの〉
- □ 生理用品（生理1周期分）
- □ おりものシート
- □ サニタリーショーツ
- □ 紙ショーツ
- □ 携帯用ビデ
- □ 軟膏（デリケートな場所の保護）
- □ カップ付きインナー
- □ 中身の見えないゴミ袋
- □ スキンケアクリーム
- □ 化粧水
- □ メイク落としシート

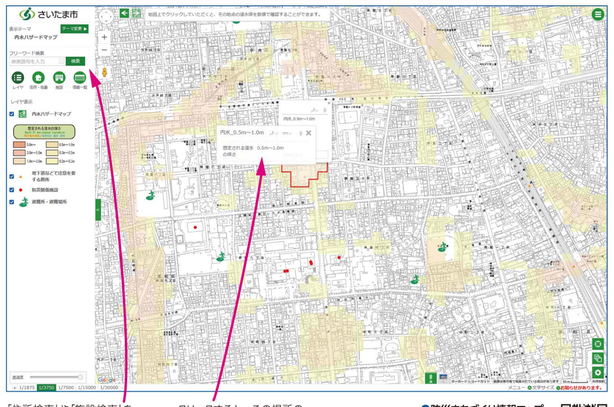
〈ペットや補助犬のために役立つもの〉
- □ ケージ
- □ ペットフード
- □ 水
- □ 常備薬
- □ 予備の首輪
- □ 伸び縮みしないリード
- □ ハーネス
- □ 使い捨てエサ皿
- □ ガムテープ
- □ ペットシーツ（トイレ用品）
- □ タオル
- □ ブラシ
- □ キャリーバック
- □ おもちゃ
- □ 迷子札（飼い主の連絡先・飼い主以外の緊急連絡先）

7 さいたま市からの情報の提供

防災まちづくり情報マップ（さいたま市地図情報内）

「さいたま市地図情報」内にあります「防災まちづくり情報マップ」を活用することで、「浸水継続時間」や「洪水浸水想定区域」等の洪水ハザードマップで示す災害リスク情報のほか、内水、土砂災害、液状化危険度分布図のリスク情報についても確認することができます。

防災まちづくり情報マップのイメージ（PC版）



「住所検索」や「施設検索」を使用することで、身近な地域の災害リスク情報を詳細に確認できます

クリックすると、その場所の浸水深等がわかります

- **防災まちづくり情報マップ**
  https://www.sonicweb-asp.jp/saitama/

マイ・タイムラインの作成

「マイ・タイムライン」とは、住民一人ひとりの「防災行動計画」を立てることです。
台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を「さいたま市マイ・タイムライン」にて整理し、とりまとめましょう。

また、国土地理院のHPや、さいたま市HPで、自分の住むところの高さを調べてみましょう。一般的に低いところは、水が溜まりやすいです。

- **国土地理院HP**
  https://www.gsi.go.jp/
- **風水害に備えて「マイ・タイムライン」を作りましょう**
  https://www.city.saitama.lg.jp/001/011/015/003/003/p063827.html
- **さいたま市HP（さいたま市地形図）**
  https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/014/008/p047050.html